

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		合生文化会館主催講座等実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	財津 幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	平田 洋介
	基本事業	72	人権活動実践の促進			所属班	合生文化会館	(内線)	096-242-3218
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 3 コスト削減優先度評価結果 4
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】住民交流を通して、人権交流の理解を深め、啓発に繋げるために、主催講座(5)の開設、人権講演会(年1回)、ランドゴルフ大会(年1回)、子供料理教室(年2回)を開催する。地域住民の福祉の向上のため各種相談(人権相談、健康相談、就労相談等)を実施する。人権問題の理解を深めるとともに事業等を紹介して、会館の利用促進を図るために会館便りを発行する。(年2回) 【業務の流れ】各主催講座運営、講師との打合せ、毎月の講師謝金の支払い事務、各種大会の日程調整、参加者募集チラシ作成、住民への周知、参加賞品等の購入、大会の運営。人権相談の日時調整、人権擁護委員との打合せ、住民への周知、人権擁護委員の費用弁償支払い事務。健康相談の住民周知と参加呼びかけ。各種相談の随時対応、関係機関への連絡。 【主な予算費目】報賞費、費用弁償、消耗品、印刷製本費、備品購入費									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 住民交流や地域住民の福祉の向上、会館利用促進のための事業	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 同左
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 主に合生地域住民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 事業に参加した人 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 人権問題の理解を深め、啓発に繋げる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 住民の数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 人権を尊重する活動に取り組むようになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 人権問題の理解を深めた人の数 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 過去1年間で人権活動に取り組んだ人の数と割合 人 → イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円			3,740	2,363	3,706	3,749		3,749
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,084	3,657	19	1,180	35				
	(A) 事業費計	千円	1,084	3,657	3,759	3,543	3,741	3,749	3,749		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間	1,450	1,450	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
(B) 人件費計	千円	5,757	5,771	5,970	5,970	5,970	5,970	5,970	5,970		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,841	9,428	9,729	9,513	9,711	9,719	9,719	9,719		
活動指標	人	400	400	400	400	400	400	400	400		
対象指標	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
成果指標	人	400	400	400	400	400	400	400	400		
上位成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
会館開設(S58. 4)以来、人権・同和問題解決のための拠点施設として、様々な人権問題の早期解決を目的として開始された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
会館の利用者が年々増加し、住民交流が活発になっている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
さらに、多くの人が会館を利用し、事業に参加するために、住民の要望や地域問題・現代的課題等を把握した上で事業を推進してほしい。

事務事業名	合生文化会館主催講座等実施事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 人権が尊重される社会づくりのための事業を推進。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 人権・同和問題の早期解決は行政の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 地域(住民)に密着し、地域に開かれた施設であるから。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ さらに多くの人が参加・利用するために、住民の要望や地域課題・現代的課題等を的確に把握した上での事業の推進。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 人権・同和問題の早期解決のための拠点施設としての事業であるから。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 人権・同和問題の早期解決のための拠点施設としての事業であるから。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 常に経費節減をしながら事業を推進している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の職員の配置がなされている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 会館の目的に沿った事業を、広く住民に参加の呼びかけをしながら推進している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	さらに多くの人が会館を利用し、事業に参加するために、住民の要望や地域課題、現代的課題等を的確に把握した上で事業を推進しなければいけない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	さらに、多くの人が会館を利用し、事業に参加するために、住民の要望や地域課題、現代的課題等を的確に把握した上で事業を推進しなければならない。																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	/	/	/	維持	/	/	/	低下	/	/	/	/
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	/	/	/																					
	維持	/	/	/																					
低下	/	/	/	/																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

さらに多くの人が会館を利用し、事業に参加するために、住民の要望や地域課題、現代的課題等を的確に把握した上で、事業を推進しなければならない。そのためには、地域住民へのアンケート調査の実施をはじめ、利用者や地域住民の声をしっかりと受け止めることが大切である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	8	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )